



平成30年11月2日(金)

第8回 コンクリート技術交流会

主催：日本コンクリート技術株式会社

第8回コンクリート技術交流会 プログラム

主催：日本コンクリート技術株式会社

- 1.開催日時 : 平成30年11月2日(金) 10:00~18:00(9:30受付開始)

- 2.開催場所： 国際ファッションセンタービル 3階 KFCホール
(東京都墨田区横綱一丁目6番1号 TEL 03-5610-5801)

3. プログラム：
10:00～10:05 開会の挨拶 長瀬 重雄（東京工業大学名誉教授）

- 10:05～12:00 パネルディスカッション:

テーマ 『コンクリート工事の生産性向上に向けた施工性の改善提案』

〔概要〕国土交通省は建設工事における生産性向上と魅力ある工事現場の実現を目指してi-Constructionを推進しており、コンクリート構造物の施工における生産性向上はその中心的な課題のひとつとなっています。ここでは、コンクリート工事における施工性改善やプレキャストコンクリート製品の使用促進の観点から有識者をパネリストに迎えて活発な議論を行い、現場に有益となる情報を提供します。

コーディネーター：本間 淳史（東日本高速道路）

パネリストおよび話題提供:

渡辺 博志 (土木研究所) 『コンクリートの生産性向上に向けた取り組み』
橋詰 幸信 (大成建設) 『i-Constructionに沿った現場打ちコンクリート
工生産性向上への一提案』

同本 大 (鉄道総研) 『鉄道事業における生産性向上の取り組み』
中積 健一 (三井住友建設) 『橋梁工事で取り組んできたP C a 化による生産性向上事例と考察』

河野 一徳 (日本エンターテインメント) 【PC・埋蔵薬の「活用」に関する一考察】

- 13:20～16:30 パネル展示（出展社によるプレゼンテーションと展示ブースにおける個別説明）

【内容】出展各社が保有するコンクリートの現場施工に役立つ製品や技術に関して、参加者に最新情報の収集と情報交換を行う場を提供します。各出展社が持ち時間 8 分で対象技術のプレゼンテーションを行った後、会場内に設けた各社の展示ブースに分かれて個別に詳細説明や質疑応答を行う方法で実施します。

- 16:40~17:50 特別講演 『日本のプレストレストコンクリートが持続可能であるためには』

講演者：春日 昭夫（三井住友建設 執行役員副社長）

講演内容：日本にプレストレストコンクリート（ＰＣ）技術が導入されて 60 年以上になりますが、今後の日本の ＰＣ 技術の持続可能性を考えたとき、何が課題となり、それらをどのように克服して展開していったらよいのかをテーマに論じます。

- 18:00~20:00 意見交換会 KFCホール「ホワイエ」にて

■パネル展示：出展社と出展内容

No	出展社(50音順)	出展内容
1	愛知製鋼	ステンレス鉄筋コンクリートバー「サスコン」はコンクリート構造物の長寿命化、メンテナンス能減に貢献します。
2	アストン	コンクリートの躯体防水あるいは耐久性向上に貢献する「CS-21シリーズ」製品群
3	安藤・間	トンネル覆工コンクリートのひび割れを効率的に経済的に抑制し、また、安定した表層品質のコンクリートを提供いたします。
4	KSK	3次元データを使用した構造物の「記録」「出来形管理」「維持管理」「施工計画」
5	コンステック	正しい診断 たしかな施工を一步先へ
6	太平洋セメント	太平洋セメントは、これまでに培ってきた技術力と自由な発想で時代のニーズを先取りし、安全・安心な社会のミライを目指して、これからも挑戦を続けます。
7	デンカ	できるをつくる。挑戦し続ける「デンカの新技术」
8	ニチバン	コンクリート構造物のひび割れを補修する低圧注入工法について、補修材注入の際にひび割れ表面の目止めを行うシール材の代替となるシールテープ『せこたん TM』
9	ブローリック	未来をカタチに変える創造力
10	前田工機	トンネルの覆工コンクリート；条件によって使い分けるはく落防止工法
11	前田製管	小規模橋梁をPCaボックスカルバートへ、橋梁長寿命化修繕等のインフラ老朽化対策に、製社のPCaボックスカルバートで最適なインフラ整備を提供いたします。

■会場および交通手段



会場のKFCホール



開会の挨拶

長瀧 重義 先生(東京工業大学 名誉教授)



司 会

松田 敦夫(日本コンクリート技術)



会場の様子



パネルディスカッション

コーディネーター: 本間 淳史 氏 (東日本高速道路)

テーマ: コンクリート工事の生産性向上に向けた施工性の改善提案



パネルディスカッション①

渡辺 博志 氏(土木研究所)

コンクリートの生産性向上に向けた取り組み



パネルディスカッション②

橋詰 幸信 氏(大成建設)

i-Constructionに沿った現場打ちコンクリート工生産性向上への一提案



パネルディスカッション③

岡本 大 氏(鉄道総合技術研究所)

鉄道事業における生産性向上への取り組み



パネルディスカッション④

中積 健一 氏(三井住友建設)

橋梁工事で取り組んできたPCa化による生産性向上事例と考察



パネルディスカッション⑤

河野 一徳(日本コンクリート技術)

橋梁工事で取り組んできたPCa化による生産性向上事例と考察

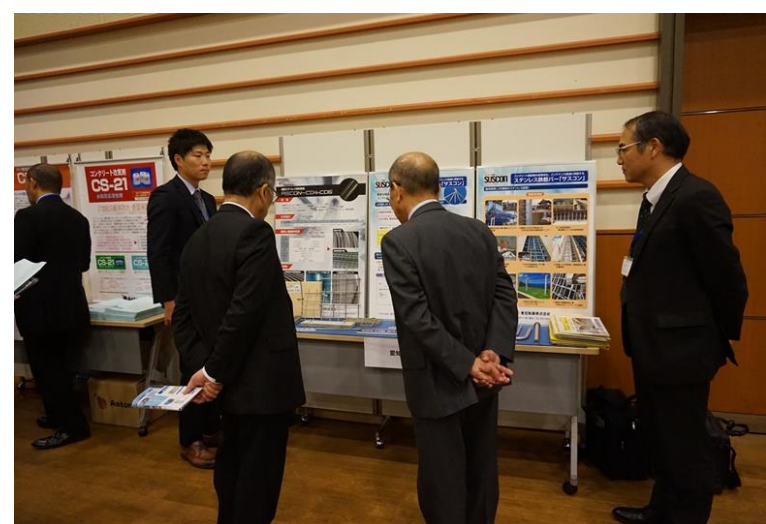


パネルディスカッション



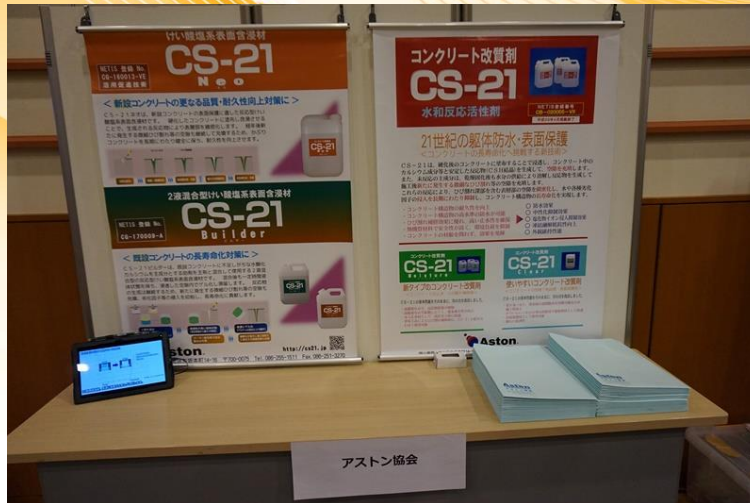
パネル展示①

愛知製鋼：ステンレス鉄筋コンクリートバー「サスコン」はコンクリート構造物の長寿命化、メンテナンス低減に貢献します。



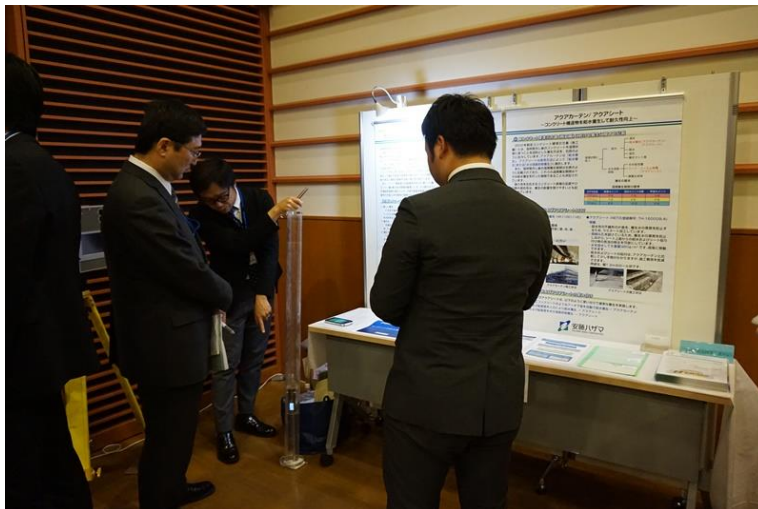
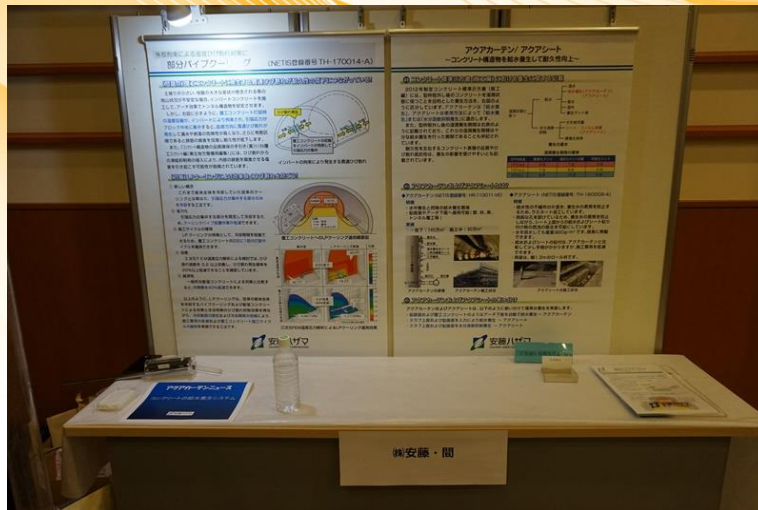
パネル展示②

アストン協会：コンクリートの躯体防水あるいは耐久性向上に貢献する「CS-21シリーズ」製品群



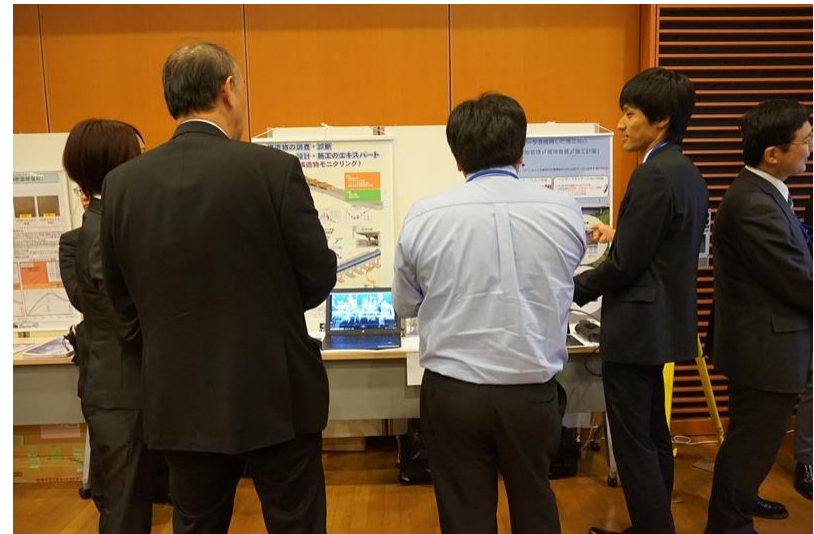
パネル展示③

安藤・間:トンネル覆工コンクリートのひび割れを効率的に経済的に抑制し、また、安定した表層品質のコンクリートを提供いたします。



パネル展示④

KSK:3次元データを使用した構造物の「記録」「出来形管理」「維持管理」「施工計画」



パネル展示⑤

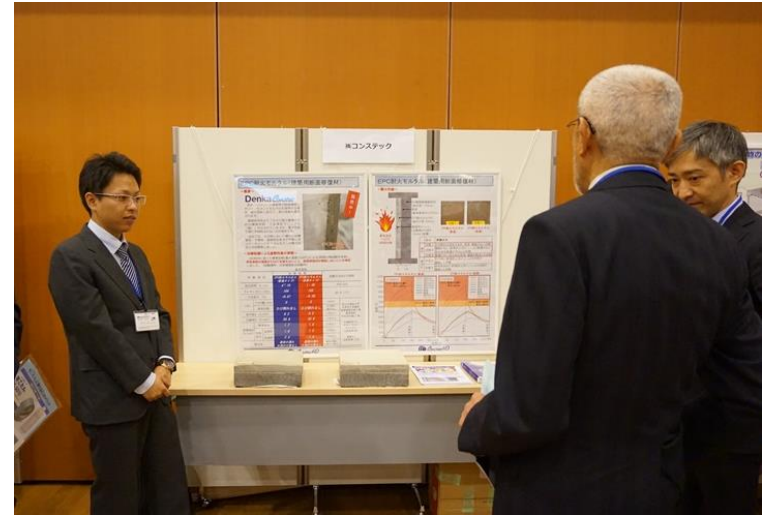
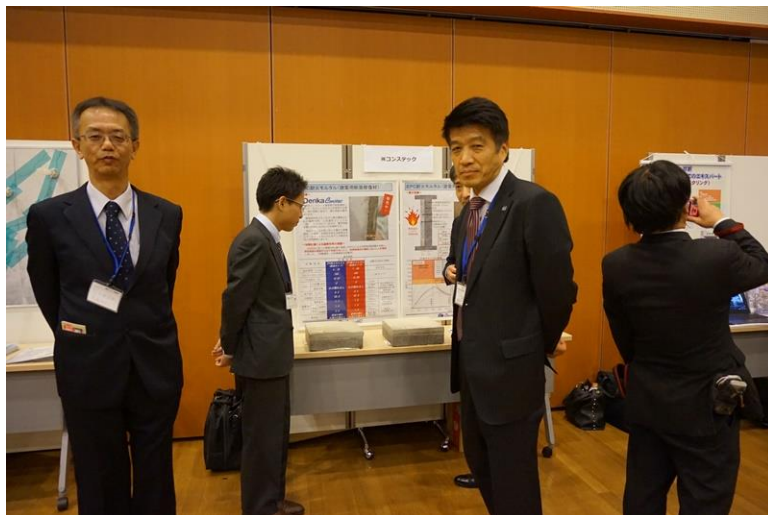
コンステック：正しい診断 たしかな施工を一步先へ



主催 日本コンクリート技術株式会社

フレッシュ性・強度・耐久性 試験結果

試験項目	EPC耐火モルタル (普通タイプ)	EPC耐火モルタル (急硬タイプ)	試験方法および規格
固化時間 (h:min)	4:10	1:46	JIS A16
モルタルフロー (mm)	164	165	JIS A1171
寸法変化 (%)	-0.07	-0.09	
だれ	下がり量 (mm)	0	5以内
	表面状態	ひび割れなし	ひび割れ発生なし
曲げ強さ (N/mm ²)	9.2	8.5	5.88以上
圧縮強さ (N/mm ²)	58.8	42.6	19.6以上
接着強さ (N/mm ²)	標準条件	1.7	0.98以上
	特殊条件	1.6	0.78以上
	低温時	2.4	0.49以上
透水性	裏面の濡れ、 水滴の付着なし	裏面の濡れ、 水滴の付着なし	裏面の濡れ、 水滴の付着なし



パネル展示⑥

太平洋セメント: 太平洋セメントは、これまでに培ってきた技術力と自由な発想で時代のニーズを先取りし、安全・安心な社会のミライを目指して、これからも挑戦を続けます。



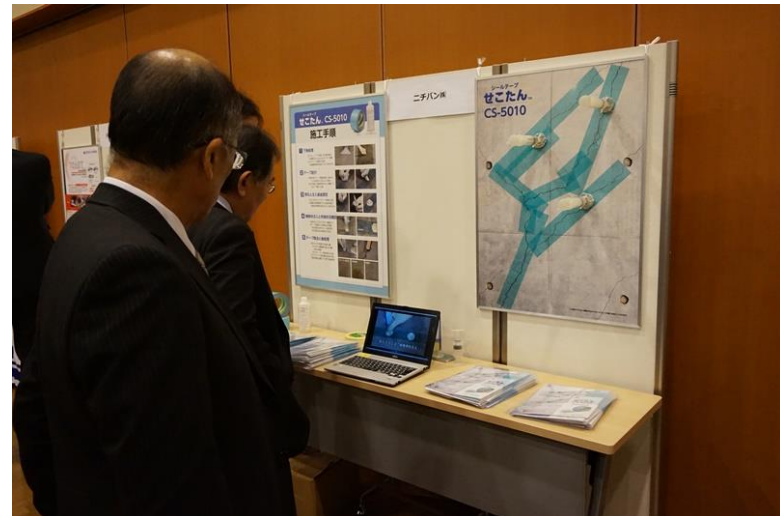
パネル展示⑦

デンカ：できるをつくる。挑戦し続ける「デンカの新技術」



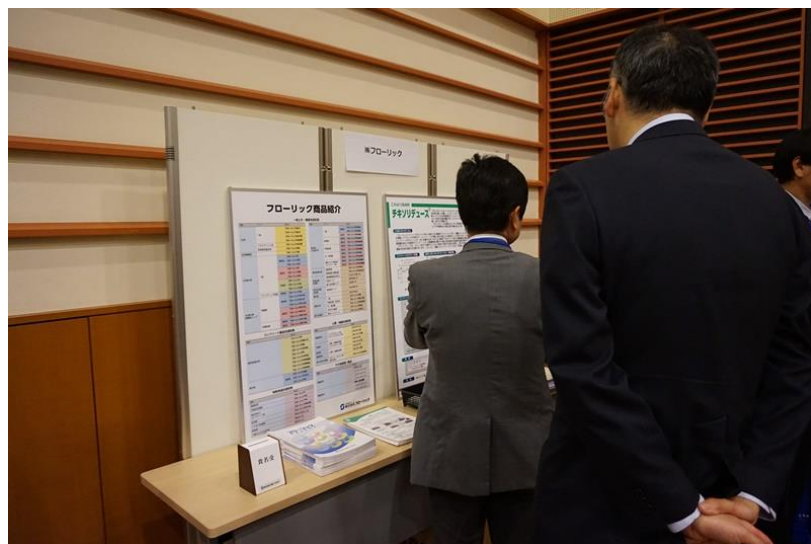
パネル展示⑧

ニチバン: コンクリート構造物のひび割れを補修する低圧注入工法について。補修材注入の際にひび割れ表面の目止めを行うシール材の代替となるシールテープ『せこたんTM』



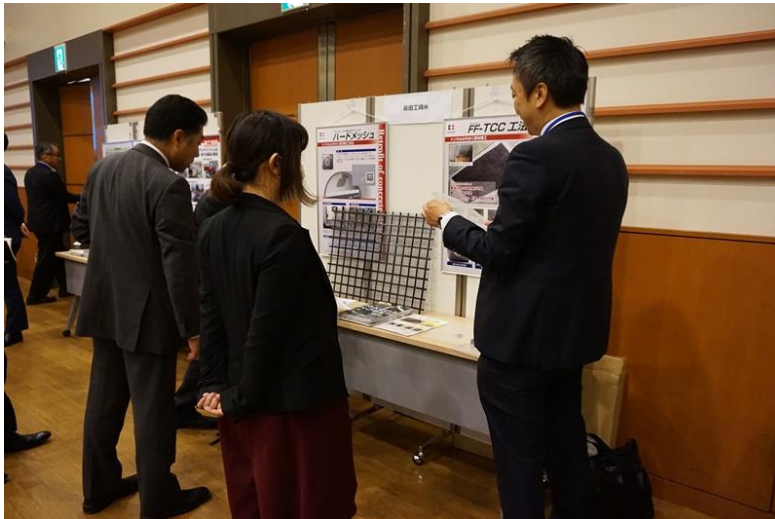
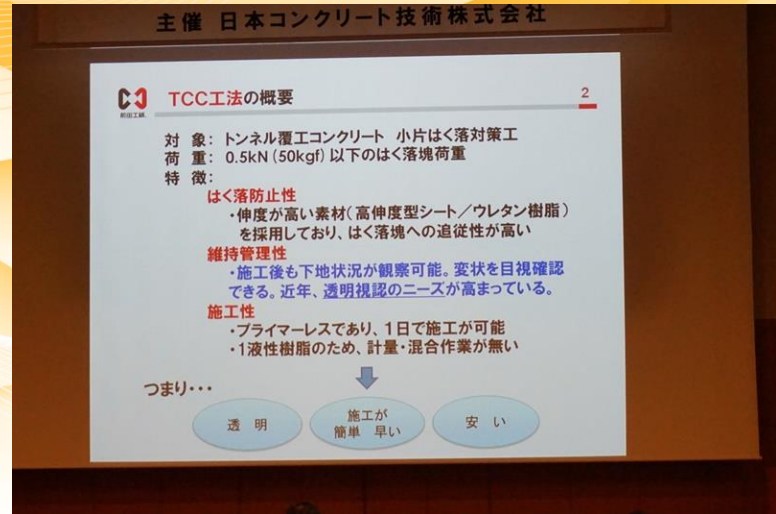
パネル展示⑨

フローリック: 未来をカタチに変わる創造力



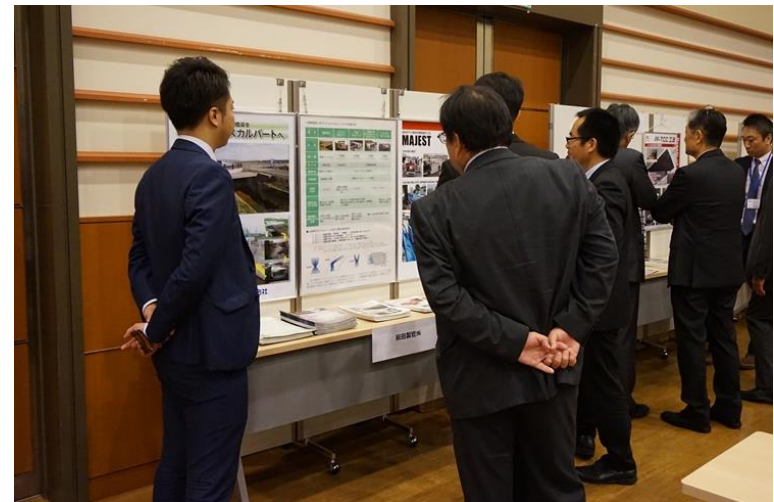
パネル展示⑩

前田工織:トンネルの覆工コンクリート;条件によって使い分ける剥落防止工法

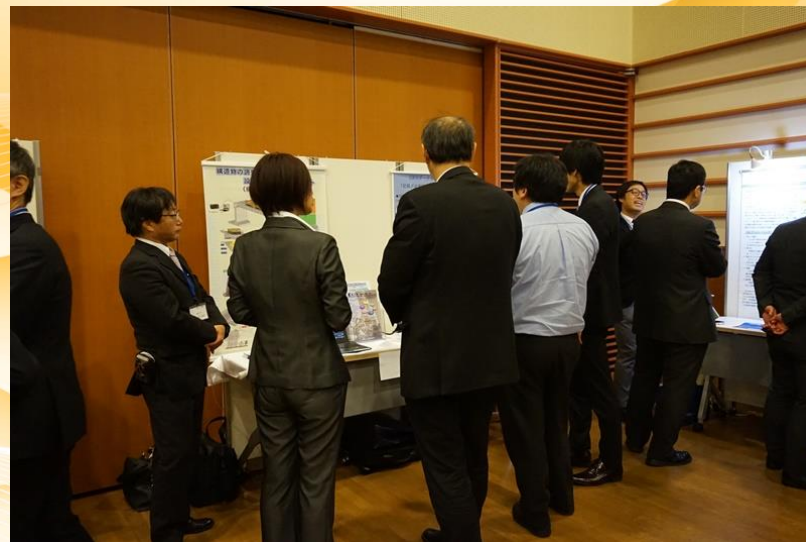


パネル展示⑪

前田製管：小規模橋梁をPCaボックスカルバートへ。橋梁長寿命化修繕等のインフラ老朽化対策に、弊社のPCaボックスカルバートで良質なインフラ整備を提供いたします。



パネル展示の様子



特別講演

春日 昭夫 氏(三井住友建設)

『日本のプレストレストコンクリートが持続可能であるためには』



写真:セメント協会様よりご提供

特別講演



第8回 コンクリート技術交流会 2018/11/02



講演内容

1. 日本のPC、80年のあゆみ
2. 日本の課題
3. 日本の展望



1. 日本のPC、
80年のあゆみ

第8回 コンクリート技術交流会 2018/11/02



日本のPC技術

PC工学会は創立60周年（1958年、FIPメンバー）



JfcbはFIPから66年（1952年）

AFGC（仏）は1952年のFIP創立メンバー

DAfstb（独）は1955年からFIPメンバー

日本は技術導入したにしては着手が結構古い
→ このことが後の技術的發展につながる

特別講演

第8回 コンクリート技術交流会 2018/11/02

三井住友建設

Bridge Design & Engineering

2004年



2014年



2. 日本の課題

第8回 コンクリート技術交流会 2018/11/02

三井住友建設

追いかける目標を失った日本？

自ら先頭に立ってトレンドを作る事が苦手な日本



第8回 コンクリート技術交流会 2018/11/02

三井住友建設

橋梁におけるノーベル賞現象

✓ 30年前の業績が引き継がれていない...

波形ウェブ
(島田、1965年)



複合橋としての波形ウェブ
1986年



逆輸入後
150橋以上

1993年～



世代間の
ギャップ



特別講演の様子



閉会の辞

篠田 佳男(日本コンクリート技術)



意見交換会

KFCホール ホワイエ



意見交換会

開会の挨拶・乾杯



意見交換会

歓談の様子



意見交換会

歓談の様子



意見交換会

中締め



本会の無事終了への感謝と、皆様の御健勝・来年の再会を祈念して三本締め